

経営比較分析表

岐阜県 瑞浪市

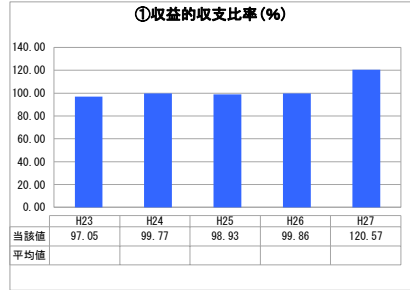
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.49	82.64	3,456

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,968	174.86	222.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,742	2.51	694.02

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



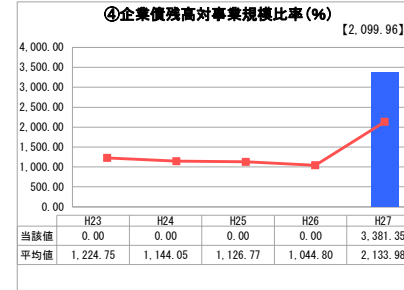
「単年度の収支」



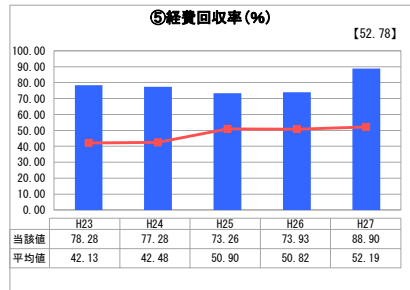
「累積欠損」



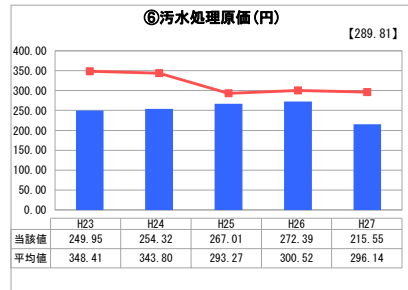
「支払能力」



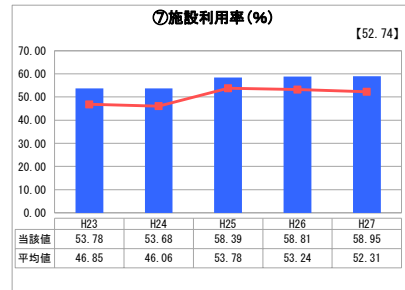
「債務残高」



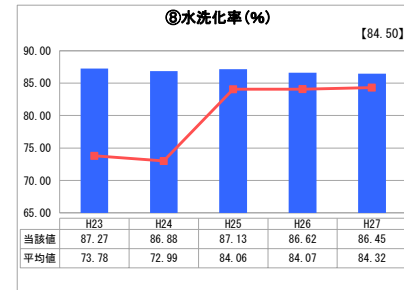
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

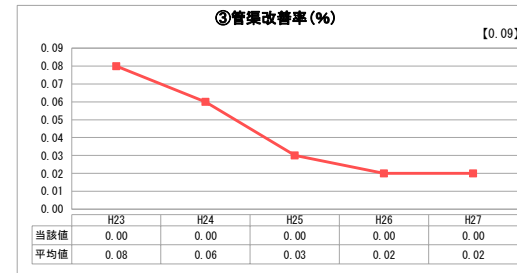
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水処理施設は、小規模な排水処理区域のため、類似団体が共通して営業収益で汚水処理費を賄うことが出来ないと言います。供用開始から25年以下の各施設ですが水洗化率が高く、また経常経費の削減に努めているため平成27年度は汚水処理原価を下げ、経費回収率を上昇することができました。平成27年度に収益的収支が120%となったのは、平成28年4月の公営企業会計への移行に伴う一般会計からの繰入金増額による一時的なものです。平成26年度以前の企業債残高対事業規模比率が0.00となっていますが、これは企業債償還を一般会計からの繰入金で賄うこととしていたためです。企業債残高は、供用開始から25年以下のため類似団体平均よりも高い水準にあり、企業債償還の財源の確保について検討が必要です。

2. 老朽化の状況について

供用開始から25年未満で污水管が耐用年数を経過していないため、修繕等の実績がなく管渠改善率は0%です。今後、管の老朽化に併せて計画的な老朽化調査が必要です。

全体総括

農業集落排水事業は、営業収益の伸びを見込み難いため、一般会計繰入金に大きく依存しています。今後、施設の維持管理費や企業債償還費、施設の長寿命化による改築費用が加わるため、それらの費用財源のために大幅な使用料改定が必要となります。農業集落排水処理施設使用者の負担を少なくするためにも、公共下水道への統合により効率的な施設利用を図る等、抜本的な対策が必要となります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。